

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスE-NE CREATE小机		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日		～ 2026年 2月 末日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年 1月 13日		～ 2026年 2月 末日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画作成時の意向確認や、面談を通じた相談・助言を行い、保護者様との信頼関係構築に努め、定期的なミーティングで共有することで支援の統一や職員の意識の統一を図っている。	児童の特性や活動内容に合わせ、部屋を分けたりスペースを区切ったりする「構造化」を意識している。店舗ミーティングにて必要な工夫や対策も検討する機会を設けている。	各種リスク管理マニュアル(事故・緊急時・防犯・感染症)を整備し定期的な避難訓練を実施し、いざという時の動きを確認している。
2	毎日の清掃業務や過ごとの当番制での清掃業務等で清潔で心地よい空間維持に努めている。	Instagramやお便り、SNSを活用した定期的な情報発信により、事業所の活動内容を可視化している。	
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動をより充実させるにはスペースが限られているという声があり、物品の管理場所や、公園等の外部資源を積極的に活用することで、活動の幅を広げる工夫が必要。	祝日の外出支援時やご利用児童の特性により、現状の配置基準内ではスタッフが「より手厚い見守りが必要」と感じる瞬間があり、人員配置の最適化に余地があること。	地域住民を招いた行事など、地域に開かれた運営が十分ではないため近隣施設への訪問など、地域交流の機会を段階的に増やしていくことを検討。
2	マニュアルの存在は周知されているが、さらなる安全性の向上のため、各種マニュアルの整備と共有を定期的に行い、職員、保護者様へより明確化する必要がある。	複数店舗がある中で、各店舗一律での開催ハードル(場所の確保やスタッフの調整)が高く、保護者会やきょうだい支援の実施が検討段階に留まっている。	保護者同士の交流会について、ニーズを再確認し、開催の内容(座談会、活動体験会、学校や学年ごとの開催など)やオンライン開催など参加しやすい形態での実施を検討。
3	日々の個別支援や集団活動を遂行する中で、保護者同士の交流会やきょうだい支援といった『家族全体を対象とした支援』の企画・運営を実施するための体制が整っていない。		